

2017年を振り返って

2017年も医療福祉事例検討会に参加させて頂き、誠にありがとうございました。

毎回、発表される方々の想いや苦悩が強く伝わり、多種職の皆さんで共に考え、意見が飛び交うこの検討会は、我々にとって色々なことが学べる機会であり、日頃の活動に活かせる場であるため、いつも有意義な時間であると感じております。

事例検討会には、我々の会員が参加し始めて今年で5年近くとなり、当会発足やニュースレターの発行が3年目となりました。

本年の事例検討会のなかで、ケアマネジャーの方から訪問でのマッサージの良さをご意見として発表してくださったり、事例によっては我々の鍼灸あん摩マッサージ指圧師の意見も聞いてくださったりと、徐々に多種職の皆様にも認知され、ご興味を持って頂けていることを実感できた1年でした。

2018年も、患者様やそのご家族、そして地域のために活動し、多職種の方々と連携を図り、勉強に励んで参ります。今後とも、ご指導・ご連携のほど宜しくお願い致します。（こぼり）



◆訪問医療マッサージを考える会つば

つば市内での在宅における訪問医療マッサージの現状を少しでも改善させ、利用者やその家族に喜ばれるよう、市内のマッサージ師（鍼灸師も含む）有志で2015年に結成しました。

（2017年12月現在、マッサージ師9名、鍼灸師9名所属）

事務局・発行元：こぼり治療院

☎ 029-869-9979

◆ホームページ随時更新中！

<http://medical-massage-at-home.com>



マッサージでできること 26 ～症例を参考に～

【信頼関係から迅速な対応ができた例】

Tさん（80歳、男性）：パーキンソン病

A市のケアマネジャーの方からご依頼があり、初回はTさんのご自宅へご挨拶に伺い、身体状況や最近の生活のこと、介護サービスなど色々とお聞きました。

持病由来の運動機能障害や腰痛や四肢の痛みも訴えており、歩行困難や筋固縮、関節の動きの悪さもみられました。マッサージ施術についてもご説明し、実際にマッサージやストレッチ、関節可動域訓練、運動療法を試しに受けて頂きました。



施術後は、身体がスッキリし、関節の動きも動かしやすくなったと仰いました。歩き始めの足が出やすくなり、足の運びが少し良く感じられるとのこと、その後、主治医に訪問マッサージについてご相談をし、同意書を書いて頂けたため、施術を開始することになりました。

施術を開始して2ヶ月ほど経ったある早朝、突然Tさんからお電話がありました。玄関で転倒し、身動きがとれない、と。Tさんは独居で、娘さん家族は少し離れたところにお住まいであり、電話をしたが早朝のためか、繋がらなかったそうです。救急車は呼びたくないとのことでしたので、私はすぐにつけました。状況を確認し、お身体を診させて頂いたところ、大腿骨骨折が疑われたため、Tさんを動かさず、娘さんの到着を待ちました。娘さんに状況を説明し、病院へ連絡してもらい、お孫さんと一緒にTさんの患部をできるだけ動かさないようにして車へ運び、病院へ向かってもらいました。

結局、大腿骨転子部骨折で、すぐに手術をしたとご連絡を頂きました。今回の対応について、Tさんやご家族もとても感謝して下さいました。日頃からの信頼関係が今回のような対応となり、喜んで頂けましたが、施術が順調にスタートした矢先の出来事だったため、非常に残念で悲しい出来事でした。それでもTさんは、早く良くなってまたマッサージや機能訓練を受けたいと仰っていたそうです。（こぼり）

最後までお読み頂き、ありがとうございます。
当会や在宅医療マッサージについて、
ご興味・ご関心をお持ち頂きましたら幸いです。